

評価シート

耐震	部位	壁	分類	閉鎖型	有効期限	2029年3月31日	評価番号	A-485	
評価技術名称					連絡先	https://www.aichi-gensai.jp			
部分開口 構造用合板補強工法					愛知建築地震災害軽減システム研究協議会				
真壁「1間 長押」アルミ材下地					実験実施機関 :名古屋工業大学				
技術概要									
構造用合板を横向きで用いて、1間の壁面を真壁の仕様で横架材及び土台と面材を接合せず、床、天井間のみをアルミアングルと構造用合板で補強する工法。									
技術の特徴							コスト		
<ul style="list-style-type: none"> 土壁・天井・床・長押・付鴨居を解体することなく真壁や入隅に施工が可能 1間の間に柱がない真壁に有効 壁体内に土壁や設備配管等が存在しても施工可能 							サンプル構面	48,692 円/kN	
							設計見積り例	—	
適用範囲					写真・図				
構法	木造在来軸組工法								
規模	3階建て以下								
基礎、地盤	特になし								
適用部位	内外壁								
耐震性能					それぞれの構造用合板高さ 400mm 以上				
評価仕様:アルミアングル下地 真壁仕様					アルミアングルは正面から見て 40mm				
壁基準耐力		壁基準剛性							
1.3N/m		182.5kN/rad/m							
A-111からの低減係数 $\alpha = 0.25$									
壁基準耐力 $5.2 \times 0.25 = 1.3$									
設計方法									
① 柱接合部による低減 : 取付部分が健全であること									
② 劣化による低減 : 取付部分が健全であること									
施工者指定									
特になし									
主要構成部材の仕様									
仕様	構造用合板	真壁、厚 12mm、横使い、各高さ 400mm 以上、タッピングビス $\phi 3 \times L30$ 、木ビス(コーススレッド) $\phi 3.8 \times L32$ 、セルフドリルネジ $\phi 4 \times L30$ のいずれか、@100mm 以下、川の字打ち、端あき 15mm 以上 20mm 以下							
	アルミ	アルミ不等辺アングル 9×40 $t=1.5$ またはこれ以上のサイズのもの							
	アングル(縦)	JIS H4100 の A6063-T5 材(アルミ建築構造設計基準で AS110 材)またはこれと同等の強度を有するもの							
	間柱	なし							
	継手受材	なし							
	上下受材	なし							
	四方受材	なし							
	下地材	なし							
	かさ上げ材	なし							
	アルミアングル納まり図								
木ビスはアルミアングル短辺の中央付近に打たず、なるべくコーナー付近に打つ					概念図				
					構造用合板が浮く場合はアルミアングルに先孔を用いる				